

1 実証実験の概要

(1) 概要

2022年10月に運行を開始したコミュニティバス グルーンは、一部で**利用が少ない路線**があり、移動ニーズと合致していない可能性があります。

乗合型のオンデマンド交通は、バスとタクシーの中間的な乗り物です。**新たな移動の選択肢**として、2か月間の実証運行を実施しました。

(2) 運行エリア

① 北部エリア

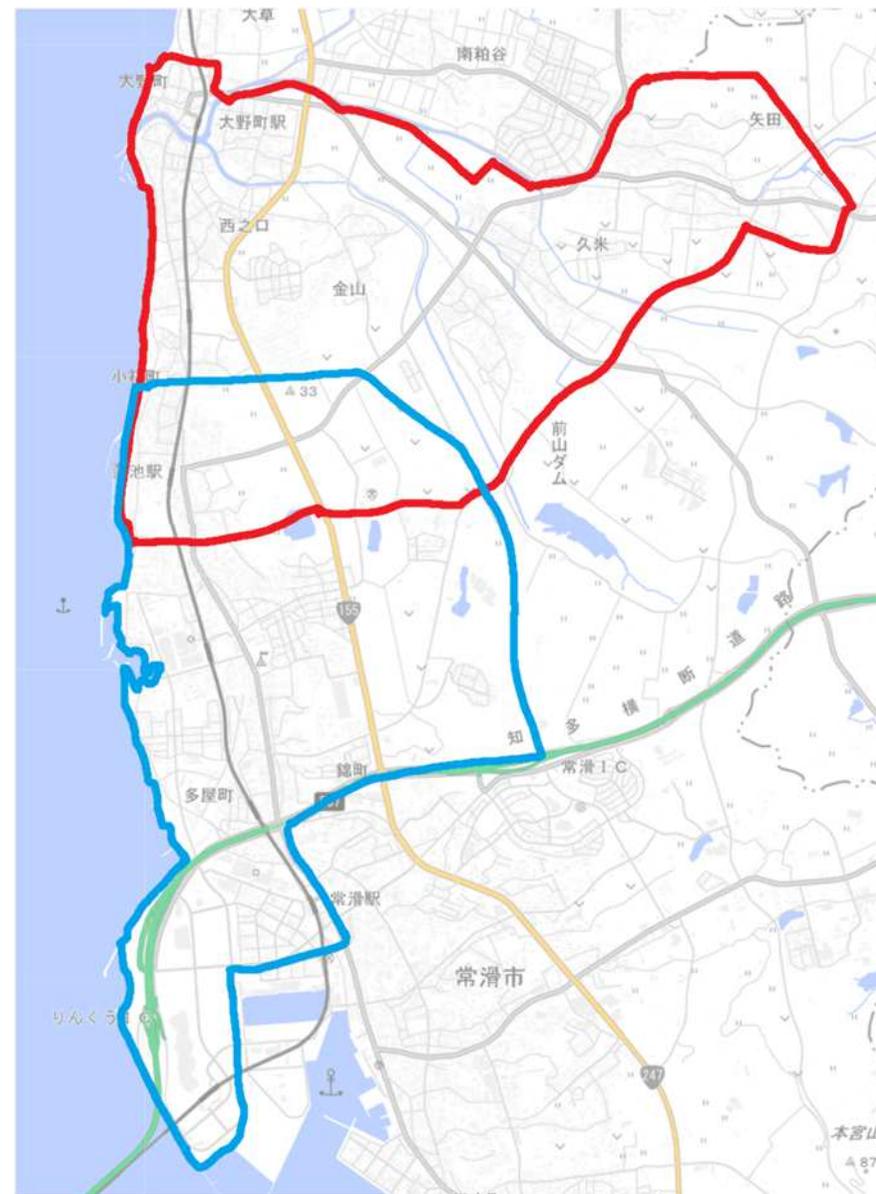
- ・ グルーンは、各地区を經由するため**所要時間が長い**
- ・ スーパーや医療機関などが立地しているが、**停留所から離れている**ところも多い

② 中部エリア

- ・ 鉄道、グルーンは南北方向に運行しており、**東西方向の移動手段が少ない**
- ・ 旧道や海沿いの地区などが**交通空白地**になっている

③ 市街地送客運行

- ・ クルマ社会において、移動の課題を抱える人は高齢者に多く、**午前中の移動需要が集中**
- ・ 事業性を高めるため、**午後や夜の移動需要に着目し、国際展示場と市街地のホテルや飲食店**の間を運行



2 実証実験の成果について

(1) 利用者数

- 1月に大きく利用者数が減少しました。お試しクーポン終了の影響もありますが、十分に定着しないまま、年末年始(6日間)の運休期間を挟んでしまい、利用客が離れてしまった可能性もあります。
- 市街地送客運行は、来訪した宿泊客にホテルでチラシを配布するくらいしか周知できませんでした。鉄道より高い1人400円ですが、ホテル・展示場を直接移動するニーズがあるようです。
- 今回の実験はK-POPアーティストのコンサートで、公演前後に利用が集中していました。一方で、グッズ販売のために運行開始前に会場に移動する人も多く、需要の取りこぼしがありました。

利用状況

	北部エリア(46日)		中部エリア(46日)		市街地送客運行(2日)		合計	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
12月	138	187	164	220			302	407
1月	55	65	57	75	28	65	140	205
合計	193	252	221	295	28	65	442	612

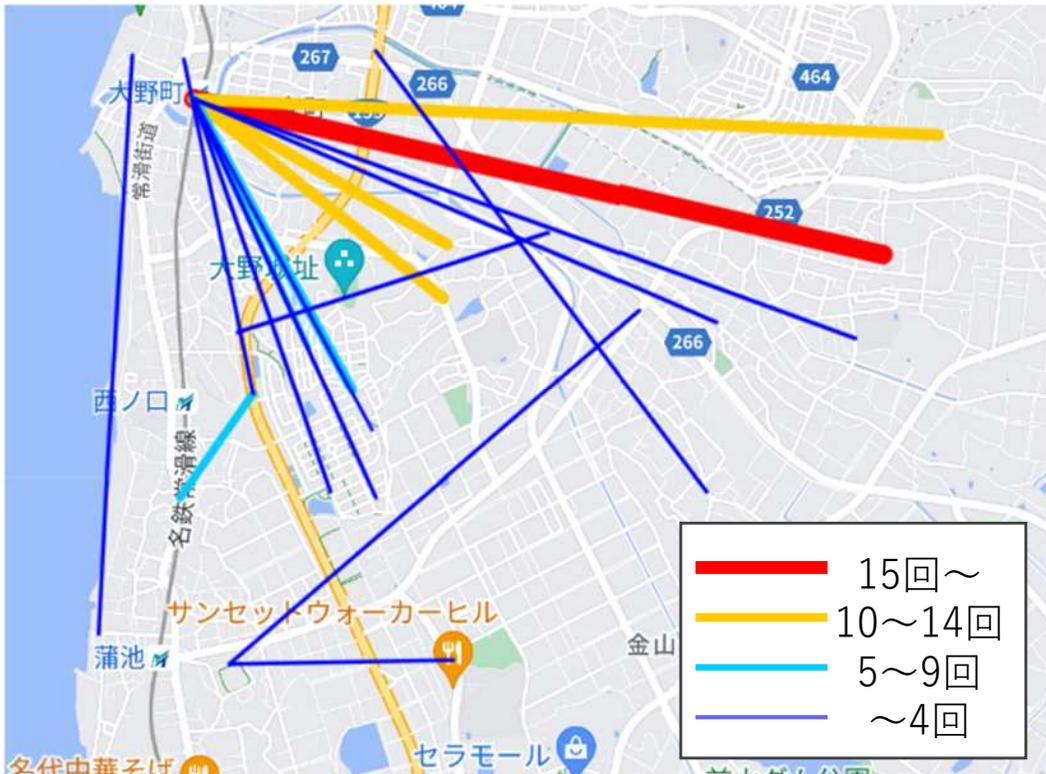
アプリ・電話の状況

	北部エリア(46日)		中部エリア(46日)		市街地送客運行(2日)		合計	
	アプリ	電話	アプリ	電話	アプリ	電話	アプリ	電話
12月	96	42	101	63			197	105
1月	49	6	30	27	28	0	79	33
合計	145	48	131	90	28	0	304	138

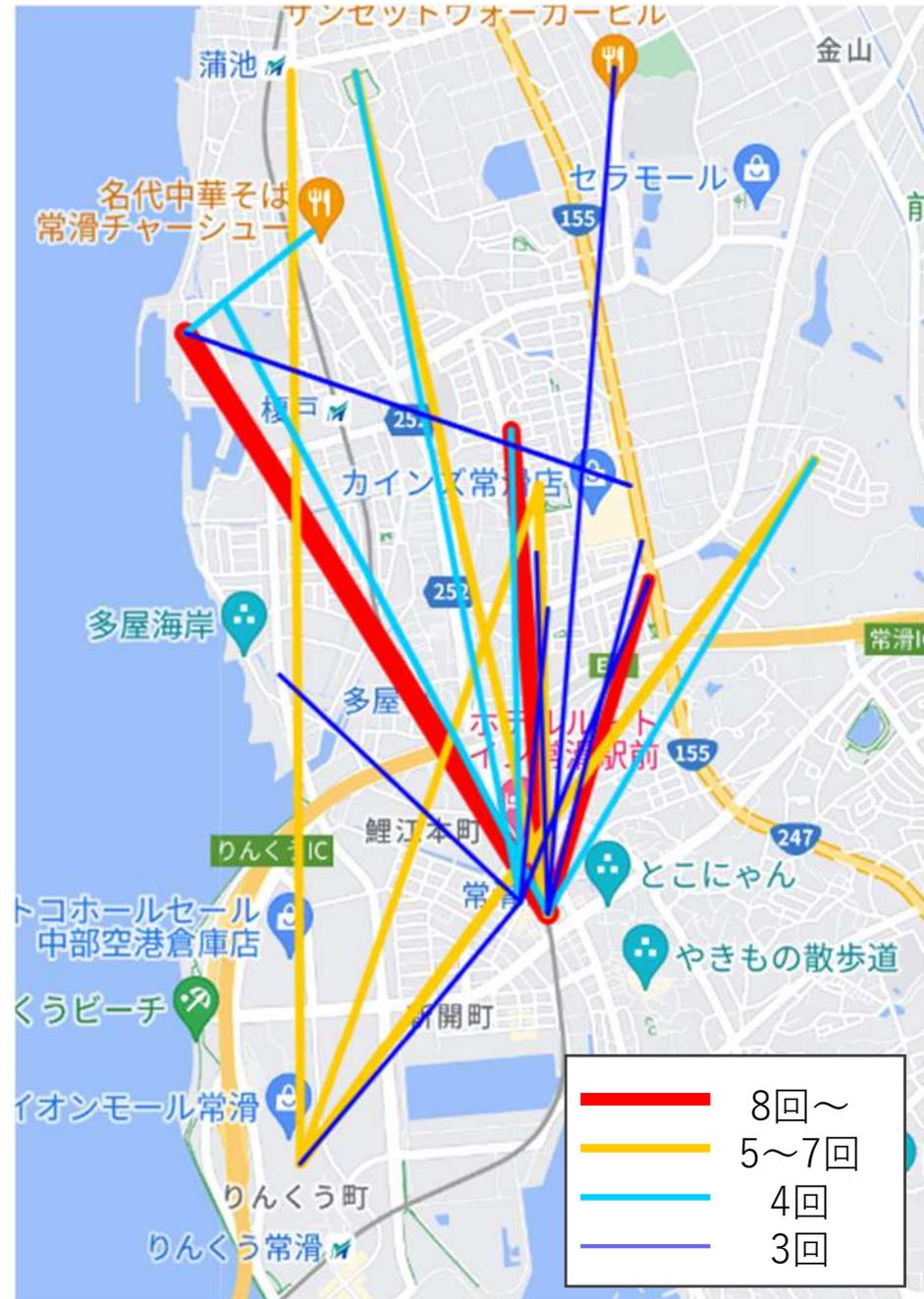
(2) 利用ルート

- 北部エリアは**大野町駅と各地**を移動する利用が多く、特に東部(久米、矢田)との間で利用が多かった
- グルーンが運行している区間だが、**有料のmobiを利用**する人がいた
- 中部エリアは東西方向の移動需要を想定していたが、**常滑駅と各地**を移動する利用が多く、南北方向の移動が多い結果になった
- 常滑駅周辺が「目的地」なのか、「移動の結節点」なのか、さらに分析が必要

北部エリア



中部エリア



3 実証実験の課題について

(1) 周知の課題

- 「運行の周知」は、運行エリア内の全戸へのチラシ配布、各施設や常滑駅・大野町駅でのチラシ配布、ポストコ1月号への掲載など、幅広く繰り返し実施しました
- 一方で、説明会などの開催が少なく、個々に対する「**利用方法の周知**」が**不十分**でした。
- グルーンのように「わかりやすい乗り物」でも、多くの人に定着するには時間がかかることから、多くの人に利用してもらうには**実証期間(2か月)**が**短かった**です。

(2) 運行の課題

- mobiは乗降場所に目印がないため、電話予約の人が**車両と合流できない可能性**があります。
- 電話予約は全国一括で対応するコールセンターで受け付けたため、オペレーターに土地勘がなく、地元の利用者とのコミュニケーションが課題になりました。利用者が円滑に予約できるよう**地元の人がコールセンターを設置**することも必要です。
- 運賃(1回400円)に対しては、北部は「少し高い」が最も多く63%だったのに対し、中部では「ちょうど良い」が46%で最多でした。地区によって**利用の場面、頻度、比較対象の交通機関**など、様々な事情によって**運賃に対する感じ方が変わる**ことが分かりました。
- 日頃、自家用車を利用する人は**利用の都度運賃を支払うことに抵抗**があると考えられます。またmobiは人数分の運賃がかかるため、夫婦2人で往復利用すると1,600円になり、割高に受け取る人が多いようです。導入する場合には、**月額料金や家族割引など**運賃設定の工夫も重要です。

4 今後について

- 地域公共交通計画に**導入検討を位置づけ**ています。
- バス、タクシーと一緒に、**それぞれの交通機関のメリット、デメリットを相互に補えるよう**、具体的な導入について**地域公共交通協議会で議論**していきます。
- 導入が具体化するまでの間も、可能であれば補助金などを活用して実証実験を行い、常滑市での**AIオンデマンド交通の認知度向上**を図っていきます。